

## 令和4年度 第1回 野迫川村公共事業評価

事業評価項目一覧表			
事業名	農山漁村地域整備交付金	事業主体	野迫川村
河川・道路名等	ホラ谷立里線	事業個所	野迫川村北股
評価項目及び評価内容			
<p>事業の目的及び必要性</p> <p><input type="checkbox"/>目的 森林施業の推進、木材生産性の向上及び保育作業等の労働条件緩和を図ることにより林業の振興を行い、加えて地域の活性化を図る。</p> <p><input type="checkbox"/>必要性 峰越しに結ぶ林道であり、森林整備のために不可欠である。また災害時等には迂回路としての役割を果たす。</p>			
<p>事業策定の経緯</p> <p><input type="checkbox"/>当時の状況 利用区域内の路網が未整備のため、森林施業が遅れている。林業従事者は保育等の森林整備に徒歩通勤を余儀なくされ、作業効率が悪く、大きな負担となっていた。</p> <p><input type="checkbox"/>着手までの経緯 森林整備、木材搬出のため、平成14年度より着手。地元住民及び森林所有者の強い要望があった。</p>			
<p>事業の効果(費用対効果や施策的な効果など)</p> <p><input type="checkbox"/>計画時の効果 森林整備の推進と山林への通勤時間の短縮と安全を図る。路網整備により、地域の活性化が図られる。</p> <p><input type="checkbox"/>現時点の効果 (費用対効果：1.14) 森林の保育作業が推進され、通勤等、林業就労者の労働条件が改善されており、森林施業の計画も立案されている。</p>			
<p>事業の進捗状況(着手時からの社会経済情勢の変化、事業の問題点、克服度など)</p> <p><input type="checkbox"/>進捗状況 令和4年度末の進捗率は事業費ベースで47% (実施済928百万円/計画1,969百万円)、事業量ベースで39% (完成3,200m / 計画8,200m)</p> <p><input type="checkbox"/>執行の遅延及び原因 国・村の財政事情が厳しいため、必要な事業費が確保できなかった。また、紀伊半島大水害を始めとする大雨により既設の路線が被災し、工事期間が十分に取れなかったことやその後の毎年の大雨等により工事区間に法面崩壊等が発生し、崩壊箇所の復旧工事(手戻工事)が行われ事業の遅延が発生。</p>			
<p>事業進捗の見込み</p> <p><input type="checkbox"/>進捗の対策 先線の尾根部の開設は施工効率が良いことから進捗が見込める。</p> <p><input type="checkbox"/>進捗の見込み 残区間5,000mは大部分が尾根部にあたり、単年度での開設延長は既設路線部分と比べ、進捗の伸びが期待できることから早期年度の全線開通とした。</p>			
<p>事業の対策 早期の全線開通、事業完了を目指す。</p>			
<p>その他</p> <p><input type="checkbox"/>関係機関等の意向 地元住民、森林組合より早期完成の要望がある。</p> <p><input type="checkbox"/>関連事業の有無 無し</p>			